

# 令和3年度 事業報告

## 1 概 要

令和3年度のシルバー人材センターを取り巻く環境は、会員の高齢化や企業における雇用の延伸、また、いまだ収束の見えないコロナ禍等にあつて、会員への就業制約で事業運営に大きく影響が出ました。

特に、屋外作業に携わる会員の減少が、草刈りや草取り作業、樹木の剪定、雪囲い作業や除雪作業に影響を及ぼしています。

除雪作業では、人命第一を考慮し、昨年まで雪下ろしを行っていた空き家について、お断りせざるを得ませんでした。

3年度は、平成20年度に実施してから13年ぶりに、発注者及び会員の意見をお聞きするアンケート調査を行いました。多岐にわたるご意見が寄せられ、少しでも発注者の皆様から喜ばれ、会員の皆様が気持ちよく就業できるよう、改善に役立てていきます。

事業全般においては、大変厳しい状況ではありましたが、会員の皆様の活躍が随所に見られ会員数の増加に結び付きました。生涯現役社会の担い手として、地域の皆様から大きな期待が寄せられています。

以下令和3年度の主な事業について報告いたします。

### (1) 会員数及び入会・退会の状況

令和3年度当初の会員数は1,144人でしたが、年度中に入会者が133人、退会者が118人で年度末の会員数は1,159人となりました。

### (2) 事業実績・就業実績

契約金額の総額は4億2,302万8千円で前年度比2.9%、1,179万3千円の増となりました。請負・委任業務の総額は3億6,082万3千円で前年度比3.6%増となりました。派遣業務の総額は6,220万5千円で前年度比1.1%減でした。

発注先でみると、公共受託総額が1億1,389万4千円で、前年度比2.8%の増、件数は1,246件で15.4%増となりました。民間事業所受託総額は2億4,938万6千円で前年度比6.1%の増、件数は2,570件で2.8%増でした。一般家庭受託総額は5,974万8千円で前年度比8.5%の減、件数は4,137件で9.0%の減でした。

就業延人員は92,237人で、前年度比2.0%、1,847人の増となりました。就業実人員は1,001人で前年度比3.8%、37人の増となりました。

| 区 分   | 3年度・①      | 2年度・②      | 増減・①+② |
|-------|------------|------------|--------|
| 実績の総額 | 423,028 千円 | 411,235 千円 | 2.9%   |
| 就業延人員 | 92,237 人   | 90,390 人   | 2.0%   |
| 就業実人員 | 1,001 人    | 964 人      | 3.8%   |

#### (4) 就業機会の拡大と普及啓発活動

##### ① 就業機会の拡大

「おそうじマイスターのお掃除教室」「生活、介護支援者養成研修会」を開催しましたが、コロナ禍での拡大を図る内容検討が求められています。

##### ② 普及啓発活動

普及啓発促進月間の10月には、独自チラシを作成し全世帯に配布をしました。直後の入会説明会では、「チラシを見てきました。」という方が複数人あり、効果がありました。

##### ③ 広報誌の作成

十日町市、津南町の全世帯に年2回広報誌「シルバーだより」を配付し、会員の活躍や事業実績等を広くお知らせしました。

#### (5) 安全就業の推進強化

事故発生件数は13件（傷害8件、賠償5件）となり、前年度比1件の減少になりました。賠償事故は前年度9件から5件と減少しましたが、傷害事故が5件から8件と増加しました。これは、作業への「過信」や就業の慣れから来る「気の緩み」等が起因している傾向が見られます。

例年、7月に実施していましたが「安全大会」は、コロナ禍のため中止としました。安全講習会や安全啓発活動を推進し安全パトロールにも一層の力を入れていたところですが、夏に事故が集中発生しました。注意喚起をさらに徹底していく必要があります。

#### (6) 健全な財政運営と関係機関との連携

令和3年度に、事務手数料を7%から10%に引き上げた結果、組織運営を円滑に行うことができました。

また、事業運営に大きくかかわっている「補助金確保」のため、十日町市長並びに津南町長へ助成依頼をしました。今後も運営の基本となる財源確保や適正執行に努めます。